

伝統を受け継ぎ、革新を続ける

イプシロンロケット



イプシロンロケットの特徴は？

コンパクトな打上げシステム

自動点検システムやモバイル管制を取り入れて世界一シンプルな打ち上げ方式を実現しました。

ユーザーフレンドリーな機体

振動・衝撃を緩和する機構で衛星にやさしい乗り心地。小型液体ロケット（PBS）で軌道を精密に調整。このようなことからイプシロンは衛星にとってとても使いやすいロケットになっています。

これからのイプシロンは？

H3ロケットとのシナジー開発

シナジーとは相乗効果という意味で、様々な面でH3とイプシロンで相乗効果を高めるような開発を進めています。

惑星探査まで

さらに上段に高性能のキックステージ（ロケット）を搭載することで、イプシロンは惑星探査ミッションの打ち上げもできるようになります。

イプシロンロケットとは？

M-Vロケットまでに培われた日本の固体ロケット技術を引き継ぐとともに、新しい技術を開発し、小型衛星打ち上げのニーズに応える即応性、自在性を備えた先進的な衛星打ち上げ用固体ロケットです。

2013年 9月に試験機の打ち上げに成功し、ロケット新時代の第一歩を踏み出しました。

その後、2号機において強化型としてパワーアップし、さらなる革新を進めています。



強化型イプシロンの概要

項目	諸元
機体構成	3段式 (PBS*追加搭載可)
全長/直径	約26 m/2.5 m
全備重量	約95 ton
軌道投入能力	太陽同期軌道 590kg

* PBS: 軌道調整用 小型液体ロケット

これまで何機打ち上げた？

これまでに打ち上ったイプシロンロケットの一覧です。

機体	打上げ日	ペイロード	備考
試験機	2013.9.14	ひさき	
2号機	2016.12.20	あらせ	初めての強化型
3号機	2018.1.18	ASNARO-2	初めての民間衛星
4号機	2019.1.18	革新的衛星技術 実証1号機	複数衛星の 軌道投入

もっと詳しく知りたい人のために
<http://www.isas.jaxa.jp/>

